

例会:毎週水曜日 12:45~ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

RI テーマ

TEL:0263(73)2901 FAX:0263(72)3181 E-mail : azumirc@poppy.ocn.ne.jp

会長 小穴 実 幹事 中村 忠

R.I 会長 ステファニーA・アーチック ガバナー 白鳥敬日瑚

中信第一グループガバナー補佐 柴田博康

クラブ標語

【掘り興そう地域の宝(人脈)を、育もう仲間の連帯を!】

《職業奉仕月間》



★ 配布 ・幹事報告 No.22 ・第 7 回理事会報告

★ 会長挨拶

【小穴実会長】

皆さんこんにちは!

オンライン例会にご出席ありがとうございます。

先週の土曜日から日曜日にかけて「令和6年度あづみ野ロータリーカップ～ 第 33 回中学生バスケットボール安曇野大会～」がありましたので表彰式に出席してまいりました。

寒中の寒い穂高会館体育館内で男女共に12チームが集い熱戦を繰り広げました。

男子優勝は下諏訪中学校、女子は白田中学校でしたが、中にはプロ並みのスリーポイントシュートをカッコよく決める、股抜きドリブルでデフェンスを抜き去る、流石にダンクシュートを決める選手はいませんでした。体格差を利用してリバウンドを制する選手など感心する動きを見せていました。

あづみ野ロータリークラブの青少年奉仕活動のご案内と二日間朝早くから夕刻まで寒中の体育館内で声援を送っている親御さんや設営した関係者に対して感謝の意を述べて表彰式の挨拶とさせて頂きました。

観桜会の件ですが、会場に予定しているピッコラーナさんですが、24名が Max と言うことでそこら辺も含め後ほどご検討頂ければと思います。

さて本日は場々さんに年男スピーチをして頂く予定です。体調は万全に戻りましたでしょうか?楽しいお話をお聞かせ頂ければと思います。

それでは本日も宜しくお願い致します。



余談ですが

ライオンズさんが安曇野ライオンズクラブと呼称が変わりました。

★ 幹事報告

【中村忠幹事】

別紙参照



◇出席報告

会員総数 18 名 出席免除会員数 1 名	
本日の出席率	前々回(1月8日修正出席率)
出席者: 9 名	欠席者: 4 名
欠席者: 8 名	メーキャップ: 1 名
出席率: 53%	出席率: 83%

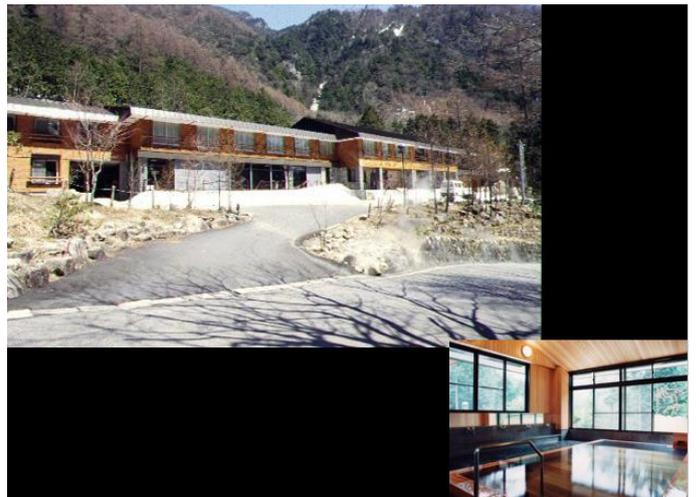




・研成 ホール



・有明荘



・ヘリーテージ



★本日のプログラム

年男スピーチ

【場々洋介会員】

いつの間にか、7月11日で72才になります。いつも決めているのは、人間ドックを毎年35才からしています。10年前に買った車もナンバーは、7/11です。下記の内容はパワーポイントでお話します。



1:、建築と私

ちいさいころから私は、父がこたつで製図板をひろげて、製図をしてました。あとでわかったのですが、富士電機松本工場で働く一方 アルバイトで、自宅で仕事をしていました。又は保全という課でしたが、一級建築士のため、すべての連続の発注者の表でした。構造が専門で、長野県建築士会の構造の講師も何度となくたのまれた様です。フジ設計の名前は富士電機から由来です。父は平成元年亡くなりましたが 私は昭和63年5月25日に、田中さんの説得で入会しました。

設計した建築はたくさんあります、



・穂高交流センター みらい



・カモシカスポーツ松本店



・あすなろ



・西穂高認定こども園



・牧公民会



・日本アルプス観光 小梨平キャンプ場

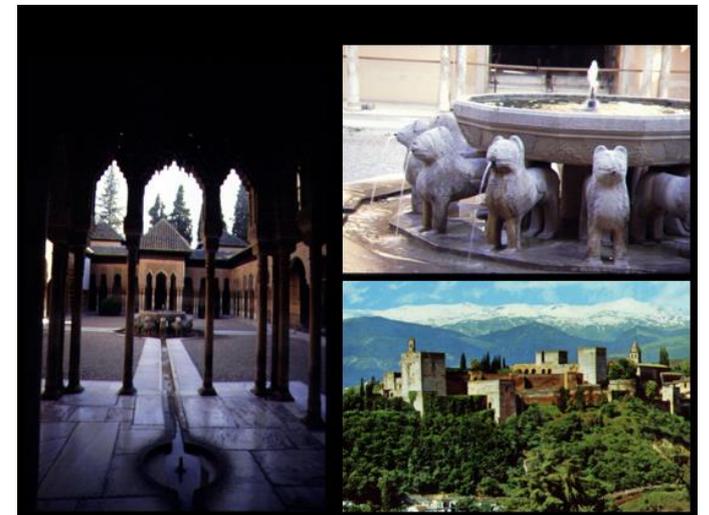


2:家族のこと

私は同級生の直澄と26才のとき結婚しました。父は30才で結始したので、早すぎるといわれましたが、一級建築士に合格することを条件に、うまく合格しました。2ヶ月前に資格証がとどきました。昭和51年父の設計した鉄骨造の住宅ですが、大家族でしたので7回ほど改築をしました。いま母が介護施設にいるので、離れに長女夫婦5人で暮らしているため、広すぎる家にひとりで暮しています。妻は亡くなって13年が経ちます。

3: 趣味のこと

・穂高西中学校



いろいろありますが、いちばんは海外旅行です。特にスペインが好きで5回は行っています。ひとりで行ったのは2回、グラナダのアルハンブラ 宮殿が大好きです。離宮にある、水の階段は すばらしいです。ミャンマーも同じぐらい行っていますが、今は、たいへんですね。



彫塑をスタートしたのが中学年生のときでした。当時は美術の先生は工藤先生(上田市) 細管意生(豊料)で40才ごろ、先生がいる彫塑仲間の会に入れていただいています。



4. これからの希望 7月で72才となる年となりました。長野県での健康年令が平均の年の様です。だから今は健康がいちばんだいじだと 実感しています。仕事もロータリーもできるかぎりやるつもりです。何度も自宅を改修してまたしたが、断熱について不十分だと思います。最後の仕事は 自宅の断熱改修だと思っています。

令和6年度あづみ野ロータリーカップ～ 第33回中学生バスケットボール安曇野大会

令和6年度あづみ野ロータリーカップ
～ 第33回中学生バスケットボール安曇野大会 ～



期日 令和7年1月25-26日
場 所 穂高総合体育館/穂高東中学校体育館・講堂
主 催 安曇野バスケットボール協会
協 賛 あづみ野ロータリークラブ
後 援 安曇野市教育委員会
安曇野市スポーツ協会
信濃毎日新聞社
市民タイムス



あづみ野ロータリーカップ会長挨拶

【小穴実会長】

皆様お疲れ様でした。

只今ご紹介頂きました今年度あづみ野ロータリークラブ
会長を務めています小穴と申します。

優勝した男子は下諏訪中学校、女子は臼田中学校の皆さん
おめでとうございます。

準優勝に終わったチームをはじめご参加頂いたチームの皆
さん、声援を送って頂いた親御さんの皆さんや設営に関わっ
た関係者の皆さん大寒の候の二日間朝早くから本当にお
疲れ様でした。

少しあづみ野ロータリークラブの紹介をさせていただきます。

あづみ野ロータリークラブは会員数18名と大変小さなクラ
ブですが、皆さんの様にあすを担う青少年の活動の支援を
させて頂いています。

他にも安曇野にある大王わさび農場の横にある三角島とい
う川州の整備のために子ども達と一緒にスケッチ大会や植
樹などの活動をしています。

また南安曇農業高校インターアクトクラブ(高校生のロータ
リー活動みたいなものですが)の支援をしています。そこ
では市内の清掃活動などの社会奉仕活動や海外研修などの
国際奉仕活動をしています。

長野県内には10個ほどのインターアクトクラブがあります
ので進学先の高校にありましたらどうぞ関心を持って入会
して活動に参加してみてください。

さて、本日勝ったチームも負けてチームもゲーム一つ一つ
の中からいくつもの課題が見つかったと思います。

春からの本格的なシーズンに向け、明日からのチーム作り
に頑張ってください。

この中から将来の八村塁選手や河村勇輝選手の様な日本
を代表するバスケットプレイヤーが生まれてくるのかしらと
期待しております。

簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

皆様本当にお疲れ様でした。

ロサンゼルス地域で発生した大規模な山火事により、少なく
とも1万2千棟の建物が崩壊し、住宅地が焼け野原となり、
数万人が避難を余儀なくされました。

文:Clara Germani (ロータリーHPより)

Share: [Share on Facebook](#) [Tweet this](#)

[Page](#) [Email this Page](#)

2025年1月7日、ビル・“チリー”・チリングワースさんはカリ
フォルニア州パシフィック・パリスーズの自宅を出て、60マ
イル南にある取引先に向かいました。その日は、普段と変わ
らない晴れた火曜日でした。

しかし、彼がこの自宅を目にするのは、これが最後となりまし
た。

午後、成人した娘から、チリングワースさんと婚約者が住む
町の近くの溪谷から山火事の煙が太平洋岸に迫っているの
を見たと言っていました。

最初は気にも留めませんでした。というのも、彼の住む地域
は緑の芝生が広がる平坦な土地で、周囲に乾いた草地もな
いため、山火事の危険はほとんどないと考えていたからで
す。しかし、携帯電話の通知が鳴って避難指示が出た瞬間、
突如としてパニックに陥りました。急いで自宅のある北に向
かって車を走らせ、避難時に持ち出すことになっている「p」
の付くもの(「人びと=people」、「ペット=pets」、「写真=
pictures」、「書類=paperwork」)を持って避難するよう婚
約者に電話で伝えました。

サンタモニカ近くのピザ屋で婚約者と会うと、携帯電話にま
た通知が届きました。新しい通知音が鳴るたびに、希望が
少しずつ失われていきました。「自宅の寝室にある煙探知機
が煙を検出したんです……。5分後、台所が非常に熱くなっ
ているという通知が来ました……。さらに5分後、洗濯室で
過剰な熱が検出されたという通知が届き、そしてついには
玄関のドアが開けられたという通知が届きました。その後も、
玄関ドアがまだ開いているという通知が2回届き、30分後
に通知は完全に止まりました。そのとき、家も何もかも失くし
てしまったことを悟りました」

チリングワースさんは、独自のユーモアを交えてこの辛い体
験を語ります。火事がきっかけで、彼と婚約者は30年間の
禁酒を破ってしまったと笑いながら話します。靴や下着を買
うためにアウトレットモールに行った際、自分が数千人の避
難者の一人に過ぎないことに気づき、再出発できるだけの
経済的な余裕があるだけ幸いだったと感じました。

しかし、電話インタビューの中で、彼の声は2度震えました。
自分の住んでいた地域が燃えているのをテレビで見たとき
の「深い悲しみ」、そして地域社会での奉仕活動で「与える
側」と「受け取る側」の両方を体験したことについて話したと
きでした。

ロータリーのネットワークが被災者を支援

ロータリーは支援を行う側と受ける側をつなげる場であると、チリングワースさんは言います。35 年来のロータリー会員で、サンタモニカ・ロータリークラブの会長エレクトである彼の元に、世界中のロータリー仲間から支援の申し出が続々と届いています。

このつながりが、彼が2回の大規模な募金イベントを計画し、参加する際の支えとなっています。3月1日には、毎年恒例のクラブの150,000ドル・チャリティーガラが行われ、その収益の大部分が山火事の被災者救援に使われる予定です。チリングワースさんはまた、1月下旬に[シアトルで行われる募金イベント](#)で、山火事の経験についてリモートで講演することになっています。

「迅速に行動を起こすのがロータリー」とチリングワースさん。彼のクラブでは、100人以上いる会員のうち四分の一近くが自宅を失ったにもかかわらず、積極的に支援活動を行っています。近隣にあるもっと小さなパシフィック・パリセーズ・ロータリークラブでは、全会員が家を失い、クラブの例会場も焼けてしまいました。

被災者の支援においては、迅速さだけでなく、的確さも重要だと、ブレイディ・コネルさん(ロータリー第5280地区ガバナーノミニ、プラヤ・ヴェニス・サンライズ・ロータリークラブ会員)は強調します。

支援したいという気持ちがあっても、やみくもに物資を集めるのではなく、より計画的なニーズ調査が必要だと、過去の教訓から学びました。「地域とのつながりが深いロータリアンの力がここで発揮される」とコネルさんは言います。

ロータリー会員たちは、避難者のために保険や連邦緊急事態管理局(FEMA)の書類作成を手伝ったり、空き部屋を提供したり、必要な資金や物資(衣服や食料)を届けたりしています。しかし、支援活動にはもっと長期的な視点が必要だと述べるコネルさんのクラブでは、サンタモニカのクラブと連携し、「自宅の焼け後に戻った被災者が必要とする支援」に目を向けています。

両クラブは、自宅の焼け跡に戻った被災者たちが灰の中から安全に所持品を見つけられるよう、ふるいと防護具を提供しています。150個のふるいを地元のホームセンターが寄付したほか、会員たちは保護用ゴーグル、作業着、手袋、ブーツなどの防護キットを購入するために[第5280地区の山火事災害救援基金](#)からの補助金を申請しました。

ロサンゼルス全域でロータリーの活動を指揮しているのは、第5280地区ガバナーのアルバート・ヘルナンデスさんです。彼は、1月下旬の時点でまだ燃え続けている2カ所の間に位置する町で、ホームレス支援の非営利団体を運営しています。この活動を通じてこれまでも人びとのニーズに対応してきたヘルナンデスさんによると、ニーズは「寄付金」と「精神的な支え」の二つのカテゴリーに分けられます。

「寄付金があれば、必要なものを必要なときに買うことができる」とヘルナンデスさん。彼は、保管スペースがないためにロサンゼルス地域にある複数の避難センターが食料や衣類の寄贈を断っているのを目にしてきました。

地区の山火事災害救援基金には1月20日までに25万ドルが寄せられており、この資金は地域の支援団体や、家や事業所を失ったロータリー会員への支援、さらにクラブが立ち上げたプロジェクトへのマッチング補助金として使われます。

ヘルナンデスさんは、災害時に見られる地域社会の強い絆を「精神的な支え」と呼びます。危機対応時のこのような親密な絆は、国内外に広がり、多くの支援の申し出を呼び起こしていると彼は言います。特に、長年にわたり海外で奉仕活動を行ってきた彼にとって、今回の山火事でロータリーの奉仕の受け手になったことは感慨深い経験でした。支援を申し出たクラブには、今も戦争が続くウクライナのクラブもありました。

今後ますます厳しくなる火災シーズンについて、ヘルナンデスさんは警鐘を鳴らします。「多くの方は、私たちが家を失ったことを心配しています。しかし、事業も失ったことや、学校が焼けてしまったこと、そして子どもたちが学校に通えなくなったことも忘れてはなりません」と彼は言います。「日常生活にいつ戻れるのか、人びとは不安を抱えています」

— 2025年1月